

**Q** 農家と商店の連携による  
農業振興を

**A** 若手農・商業者が交流できる場を検討する



渡辺勝弘議員

**問** 未来の農業の姿として6次産業化が不可欠と考えるが、そのためにも若手の農業後継者と商業後継者との交流会を設定すべきと考えるが。

**町長** 既成観念にとらわれない若手の商業者と農業者は、異業種間の連携へと発

展することができると見町の大きな財産である。今年度も開催した合同懇談会や農商工一体となった交流の場の設置に向けた6次化の検討会など、青年農業者、青年商業者が連携できるシステムを検討していく。

**問** 「究極の地産地消」として中小企業と商店街が連携した「水耕栽培」を、現在進めている交流の場の施設の一部としてはどうか。話題性ある施設として全国に発信で



まちづくり基本計画説明会(役場仮庁舎)

きるのでは。

**産業振興課長** 提案の施設は農業を観光産業としての視点での「見える農業」や「産業観光」として考えると、交流の場における農業体験施設の一つとして検討することは可能である。しかし、商店街との連携については町が実施するイベントへの参加状況や定期的に開催している町と商

工会事務局との打ち合わせなどから判断すると連携はなかなか難しいのではないかと。者、商工会などと意見交換しながら、具体的な施設運営について今後対応していく。

**問** 地元の中小企業との連携によって、農業の6次化の第一歩になるのではないかと。

**町長** 交流施設をいかに国見型の素晴らしい施設にするか、現場の商店主、農業

者、商工会などと意見交換しながら、具体的な施設運営について今後対応していく。



農商工の連携へ合同懇談会(みらいホール国見)

※6次化産業化  
農業などの第1次産業が第2次産業(食品加工)、第3次産業(流通販売)に業務展開すること。それらの数字を足しても掛けても6となるため、6次化産業と呼ばれる。

# Q 阿津賀志山整備構想は

## A まず震災復旧を第一に進めていく

**問** 阿津賀志山は  
史跡と自然景観

の山である。町では整備する方針であるが、その計画は。

的視野で検討していく。

**問** 町内の森林で  
伐採適齢期を超

えている森林が問題となつている。なぜ伐採が進まないのか。

**問** 松くい虫や  
ナラ枯れによる

森林被害の状況と対応は。

**課 産業振興 長** それぞれ  
抜本的な対

策がなく苦慮している。気候の温暖化や森林管理の悪化が主たる要因だ。今後は、被害を受けにくい健全な森林づくりや町内産木材の利  
用促進など総合的に進めていく。

**課 産業振興 長** 町では森  
林を先人か

らの宝物として捉えている。今後も有利な補助事業を取り入れ、所有者の収入に結び付くよう森林の活用を図っていく。

**問** 町では公共建  
築物などに地元

木材を利活用する方針だ。新庁舎にその計画はあるのか。

**課 産業振興 長** できれば  
町内産木材

を使用したい。

**問** 町は森林に携  
わる人を育成す

る考えは。

**課 産業振興 長** まずは子  
どものうち

に森林に興味を持たせ

ることが重要である。そのため小学校と連携しながら事業を進めている。

## 森林除染を どう進めるのか

**問** 新聞に県内の  
民有林の除染が

手つかずとあった。町の森林除染はどうなっているのか。

**課 産業振興 長** 市町村や  
県の要望に

**課 産業振興 長** 町内で切  
り出された

**問** 町が独自に  
行った放射性物  
質の木材への影響調査の結果は。

木材を対象に放射性物質の測定を行った。県が新たに設けた木材の放射性物質の基準値を大きく下回る結果が出ている。



阿部泰藏議員

**問** 森林所有者は  
山林収入が見込

ま



松くい虫被害も影響が、枯損した  
義経の腰掛松(石母田字笠松地内)